

校長室だより第 10 号（令和 8 年 5 月 26 日）

『模擬選挙』② 子どもたちの投票理由を記します。

5 月 21 日（木）に行われた模擬選挙では『小倉市長を選ぶ』という設定の下、3 人の方が立候補しました。論点は、『学校の敷地くらいの広さの土地（約 1 ha）をどのように活用するのか。』です。

候補者 1 山田あおい氏 大きな図書館を作り、日本有数の知的都市を目指します。

投票した児童の考え

- 山田氏の主張は説得力があった。
- データを活用し、納得できた。
- 図書館はだれでも無料に使える。
- 障害のある方も使いやすいような配慮すると言ってくれたから。

候補者 2 田中はる氏 総合病院を作ります。医療充実!! 安全都市宣言!!

投票した児童の考え

- 病院があれば、多くの人を救えるから。
- 少子高齢化の社会。健康第一。
- 病院があれば、安心して暮らせるから。
- 多くの税金を使うからには、みんなが健康でいられるようにするべき。

候補者 3 鈴木ゆう氏 総合公園を作ります。ゆとりを感じることができる街を作り！

投票した児童の考え

- 芝生の公園があるとホッとできる。
- 一番わかりやすく話してくれて、説得力があった。
- アスレチックやサッカー練習場が魅力的だった。
- 図書館と病院はあるが、大きな公園が身近にないので。

○費用が安く済みそうだから。

現時点の立場で、自分なりの考えをもって投票できていて素晴らしいです。

今回の模擬小倉市長選挙では、『小倉市民』の投票率は約 98%でした。欠席者がいたためです。実際の選挙での投票率は 50～60%程度です。投票は民主主義の根幹を支えているものだと考えます。政治に関心を持ち、よりよい社会は自分たちで作るという参画意識が高まるといいなと思います。